

2026年6月29日
能美防災株式会社

能美防災(株)妻沼東事業所敷地内における PFOS 及び PFOA の

検出に伴う対応について (第4報)

能美防災株式会社(本社:東京都千代田区九段南4-7-3 代表取締役社長 長谷川雅弘)は、弊社 妻沼東事業所(埼玉県熊谷市妻沼5058番地)敷地内において実施した地下水調査の結果、敷地内の地下水及び排水から、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)が環境省の指針値(PFOS及びPFOAの合算値:50ng/L以下)を超過する濃度で確認されたため、熊谷市に報告しました。

2026年4月22日、熊谷市から「能美防災株式会社妻沼東事業所におけるPFOSおよびPFOA等の検出について」の資料開示があり、当事業所周辺の住民の皆さまに対する周知および飲用指導と周辺井戸の水質調査を実施する旨が公表されました。現在、市職員による周辺井戸の利用状況調査及び水質調査が継続して実施されています。

5月27日、熊谷市は、弊社・妻沼東事業所の地下水の下流側(主に南東側)に位置し、半径500メートル圏内かつ地下水の推定主流道方向±60度の範囲に含まれる井戸の水質調査結果として、『能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について(第2回公表分)』を資料開示しました。

そして本日、6月29日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について(第3回公表分)」が資料開示されました。調査対象エリアにおいて水質調査を実施した8井戸のうち、7井戸で国の指針値※1を超過していることが判明しました。なお、上記8井戸のうち、飲用として使用されている井戸は確認されませんでした。

熊谷市は、引き続き周辺各地区において井戸の調査を実施されるとのことです。当社では、熊谷市が5月22日に実施した調査において、事業所最終放流口の測定値が前回比で約4倍に上昇していたことを受け、原因と推測される処理装置の曝気不足※2対策を講じました。あわせて、雨水排水システムにおける個別地点の調査及び残留PFASの流出防止対策の強化についても検討しています。

※1 国の指針値

- ・PFOS及びPFOAの合算値50ng/L以下(ng(ナノグラム)は10億分の1グラムを表す単位)
- ・指針値は、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2L飲用したとしても、この濃

度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

※2 曝気不足について

曝気不足は、水中の気泡の減少をもたらし、PFASの気泡への吸着及び水面への浮上分離を阻害するため、処理能力が低下する要因となります。

【今後の対応について】

近隣住民の皆さまをはじめ関係各位には、ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。弊社としましては、埼玉県及び熊谷市等の関係機関と協議のうえ、適切な対応を検討するとともに、今後の対応状況についても、適宜、弊社ホームページ等で速やかにお知らせいたします。お問い合わせについては、以下の窓口までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

能美防災株式会社 広報室

メール：mfe-info@nohmi.co.jp